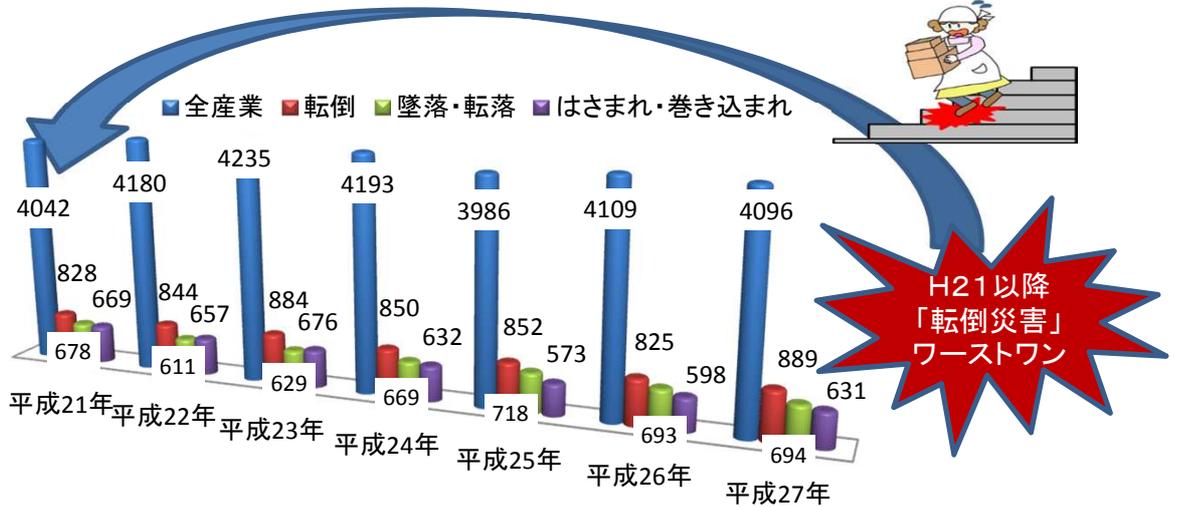


職場の『転倒災害』を防止しましょう!! 静岡労働局

休業4日以上死傷災害の推移



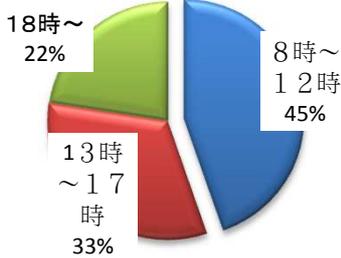
☆ 静岡労働局管内の『転倒災害』の傾向(H27)

- ✓ H21以降連続して事故の型ワーストワン。H27は全災害の21.7%を占める。
- ✓ 50歳以上の中高年齢者が68.0%占める(全災害では48.1%)。
- ✓ 業種別では、小売業131人(14.7%)、食品製造業128人(14.4%)、社会福祉施設69人(7.8%)、道路貨物運送業57人(6.4%)、飲食業51人(5.7%)、旅館業47人(5.3%)、ビルメンテナンス業40人(4.5%)、の順に多い。
- ✓ 転倒災害による死亡者数は2人、休業見込日数1月以上が531人、60.0%となっている(全災害では53.2%)。

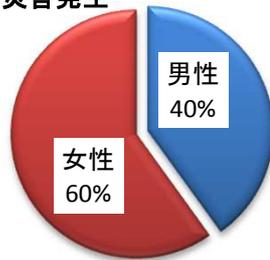
平成27年の転倒災害(889件)の発生時間別等の分析(%)

(1) 発生時間別ほか

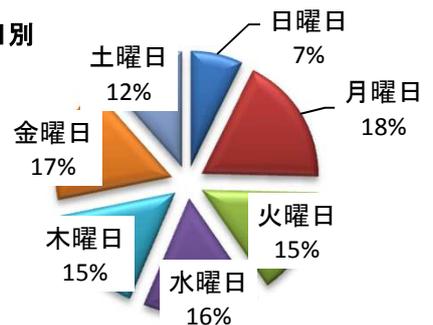
災害発生時間別



性別災害発生

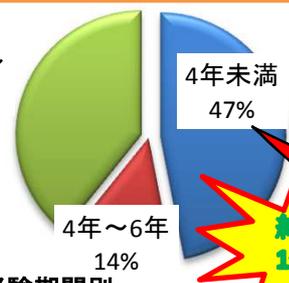


曜日別



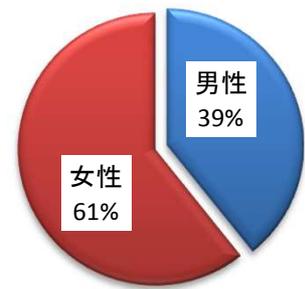
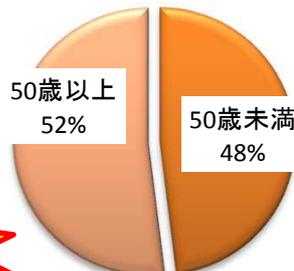
(2) 経験期間4年未満ほか

7年～
39%



約7割が
1年未満

50歳以上
52%

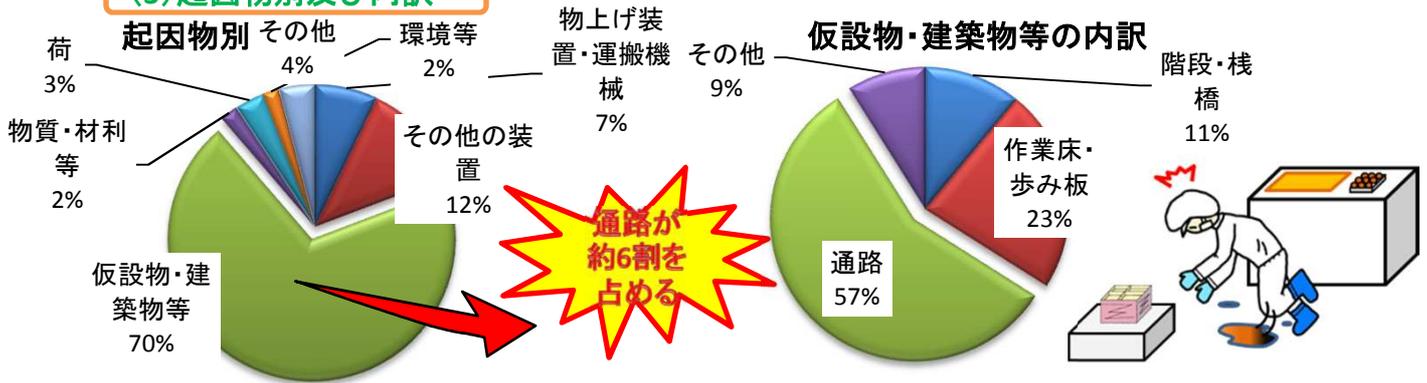


経験期間別

経験期間4年未満別年齢別

経験期間4年未満別男女別

(3) 起因物別及び内訳



☆ 平成27年の転倒災害(889件)の分析

(1) 発生時間別ほか

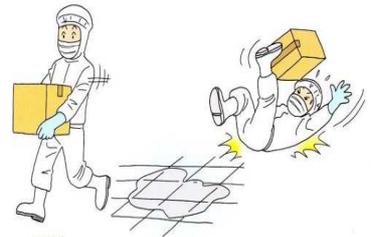
- ✓ 発生時間では、8時から12時が45%を占める
- ✓ 曜日別では休日前後の月曜日が18%、金曜日が17%を占める
- ✓ 経験期間別では、4年未満が47%そのうち1年未満が67%を占める

(2) 経験期間4年未満別ほか

- ✓ 経験期間4年未満では、50歳以上が52%を占める
- ✓ 経験期間4年未満の男女別では、女性が61%を占める

(3) 起因物別及び内訳

- ✓ 起因物のうち仮設物・建築物等が転倒災害の70%を占める
- ✓ 起因物である仮設物・建築物等のうち通路が57%、作業床・歩み板が23%を占める



☆☆転倒災害のうち、約60%を占める通路における転倒災害防止対策

- 安全衛生教育の徹底⇒雇入れ及び業務変更時の安全衛生教育
- 通路に物を置かない⇒整理整頓、安全通路の確保
- 床面の凹凸をなくす ⇒床面の補修
- 床面の滑り防止対策⇒水、油等のふき取り、滑りにくい材質への変更等
- 照度の確保⇒通路・廊下は100ルクス以上、階段は150ルクス以上
- 履物対策⇒滑りにくい靴底の履物の使用
- 不安全行動の防止対策⇒走らない、荷物等の運搬時は足元が見えるよう大きな荷物は台車を使用、ながら(携帯電話等)歩行をしない



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

★転倒災害防止のためのチェックシート

1. 身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか
2. 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか
3. 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか
4. 安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか
5. ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか
6. 職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェックしていますか
7. 荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか
8. ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか
9. 作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか
10. ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！

STOP！転倒

検索